

ZEH 目標公表資料

ZEH 事業計画書

建売は2018年（平成30年度から100%ZEH）

2016年度（平成28年度）

非 ZEH

新築	55%
リフォーム	35%

ZEH

新築	10%
リフォーム	0%

2017年度（平成29年度）

非 ZEH

新築	50%
リフォーム	25%

ZEH

新築	20%
リフォーム	5%

2018年度（平成30年度）

非 ZEH

新築	45%
リフォーム	25%

ZEH

新築	25%
リフォーム	5%

2019年度（平成31年度）

非 ZEH

新築	30%
リフォーム	20%

ZEH

新築	30%
リフォーム	20%

2020年度（平成32年度）

非 ZEH

新築	25%
リフォーム	10%

ZEH

新築	40%
リフォーム	25%

ZEHの周知・普及に向けた具体策

1世帯あたりにおけるエネルギー消費が年々増加傾向である。限りあるエネルギーの有効活用を前向きに捉え、今までも長期優良住宅・低炭素住宅等をお客様と共に施工してまいりました。しかし、住宅におけるエネルギー量の正味（ネット）をゼロにする取組みZEH自体をお客様に伝えきれていないのが現状である。

そこで、今後の周知・普及に向けた取組みは、2020年に新築する住宅の過半数がZEH仕様になることを打合せ段階でお客様にお伝えする・見学会やモデルルームでお客様を案内する際・チラシ等の告知を行うことで周知・普及に努めたいと思います。

ZEHのコストダウンに向けた具体策

従来の取引先に加え、新規取引先とも協議を行い、ZEHに向けた住まいを探求し、ZEHのモデルプランを規格化、標準仕様を作成する。さらに、規格化、標準仕様を作成するにあたり、高性能断熱材、高断熱サッシ・ガラス、高効率設備、高効率太陽光発電など、建材メーカーに集中発注することによりコストダウンを計ります。

その他の取組みなど

断熱性能、創エネルギーだけでなく、通風利用、昼光利用や暖房期の積極的な日射熱取得など、自然エネルギーを生かす省エネルギー化を念頭に置き間取りの制作を行う。

併せて、ランニングコストも抑えるために、高効率な設備（暖房設備・エコキュート）をお客様へ提案致します。